

# コンビ マンマミーア JL-299・JL-369 マンマミーアCX JL-369

## 取扱説明書

ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

また、本書は大切に保管してください。

取りはずしてある部品は、本書をよく読んで取り付けてください。本品を他のお客様にお譲りになるときは、必ず本書もあわせてお渡してください。



イラストは  
マンマミーア JL-299



安全基準B型  
(7カ月～2才まで)

目次	●ご使用前に..... 1	●シートベルトの使い方..... 9
	●安全にお使いいただくために..... 1～3	●着脱シートの取り扱い方..... 10
	△警告	●リクライニングの使い方..... 11
	△注意	●ショルダーストラップの取り扱い方..... 11
	●各部のなまえ..... 4	●ベビーカーの折りたたみ方..... 12
	●ベビーカーの開き方..... 5	●日常のお手入れ方法..... 13
	●日除けの使い方..... 6	●保管のしかた..... 13
	●買い物カゴの取り付け方..... 6	●アフターサービスについて..... 13
	●フロントガードの取り扱い方..... 7	●品質保証書..... 14
	●ストッパーの使い方..... 8	●SGマークの被害者救済制度..... 14
	●キャスターの使い方..... 8	●オプション品(別売)

このたびは、コンビ製品をお求めいただき、ありがとうございます。  
ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。  
この取扱説明書は必ず保管してください。

## ご使用の前に

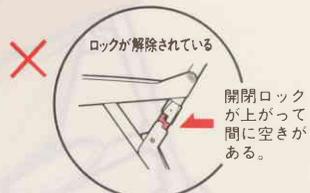
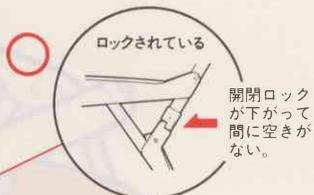
この製品は一般家庭で乳幼児を乗せ、外気浴、日光浴、買い物等に使用するための一人乗り乳母車(ベビーカー)です。

対象年齢 : 生後7ヵ月以上満2才まで  
望ましい連続使用時間 : 1時間以内

## 安全にお使いいただくために

**⚠ 警告** 取り扱いを誤ると、重大な事故につながる恐れがあります。

乳幼児が落ちたりベビーカーが折りたたまれる恐れがあります。



● 開閉構造が確実にかかっていること（完全に開いた状態であるか）を確認してから使用してください。



● 乳幼児を乗せたままベビーカーを持ち上げないでください。手がすべったり、フロントガードがはずれたりする恐れがあります。



● 階段・エスカレーター・段差等のあるところでは使用しないでください。また砂場、砂浜、河原、ぬかるみ等の悪路では使用しないでください。



● 破損、異常が発生した場合は、必ず修理を受けてください。そのまま使用しますと、重大な事故につながる恐れがあります。当社のお客室相談室にご連絡ください。

乳幼児が落ちる恐れがあります



●股ベルト・腰ベルトを必ず締めて使用してください。



●乳幼児をベビーカーの中で立たせないでください。

ベビーカーが転倒して乳幼児が落ちる恐れがあります。



●ベビーカーに同時に二人以上の乳幼児を乗せたり、乳幼児をシート以外のところに乗せないでください。



●乳幼児を乗せているとき、カゴ以外のところに荷物を乗せたり、つるしたりしないでください。



●ご使用中にハンドルによりかかったり、過度の荷重をかけないでください。

ベビーカーが動き出したり、転倒する恐れがあります。



●乳幼児や荷物を乗せたときには、ストッパーを過信しないでください。



●ベビーカーは空車であっても坂の途中、車道に近い歩道上など危険な場所に放置しないでください。



●乳幼児を乗せたままベビーカーから離れないでください。

# 安全にお使いいただくために

**△ 注意** 取り扱いを誤ると傷害を負ったり故障の原因となる恐れがあります。

- シートを取りはずしたまま乳幼児を乗せないでください。  
すき間に手や足等をはさむ恐れがあります。
- 幼児、子供にベビーカーを操作させないでください。  
転倒や思わぬ事故につながります。
- ベビーカーの開閉やリクライニング操作時には他人に触れさせないでください。  
指をはさんだりする恐れがあります。
- 空車であってもフロントガードを持って持ち運ばないでください。  
ベビーカーが急に折れたまされたり、フロントガードがはずれたり、手がすべって落下する恐れがあります。
- フロントガードを引っぱって使用したり、ふりまわしたりしないでください。  
破損の恐れがあります。
- フロントガードには過度の力を加えないでください。  
また必要以上に広げたりしないでください。
- 乳幼児を乗せる以外の目的で使用しないでください。  
目的外の使用では破損等の恐れがあります。
- ベビーカーに大人が腰かけたり、過度な荷重を加えないでください。  
破損、故障の原因となります。
- ベビーカーを押すときは歩いてください。  
走るとキャスターの動きが悪くなったり、事故につながる恐れがあります。
- 買い物カゴには5 kg以上の荷物を入れないでください。破損の原因となります。
- 踏切りを渡るときはできるだけ線路に直角に進んでください。  
ななめに渡ると車輪をとられたり線路の溝に車輪がはさまる恐れがあります。
- 雪が積もっているところや凍結したところなどすべりやすい路面では使用しないでください。  
ベビーカーだけでなく保護者も転倒する恐れがあります。
- 風の強いときには使用しないでください。  
勝手に動き出したり、転倒する恐れがあります。
- 雷のときは使用しないでください。  
落雷の恐れがあります。
- 火の近くや高温になる場所での放置、保管は避けてください。  
故障、変形の原因となります。
- 荷物等を重ねたり、圧力が加わるような状態で保管しないでください。  
故障や変形の原因になります。
- 危険ですからむやみに改造、分解をしないでください。
- ご使用の前に、ネジやナットがゆるんでないかチェックしてください。

# 各部のなまえ (取りはずしてある部品は本文をよく読んで取り付けてください。)

梱包時には「買い物カゴ」「ガードキャップ」「ショルダーストラップ」は取りはずしてあります。

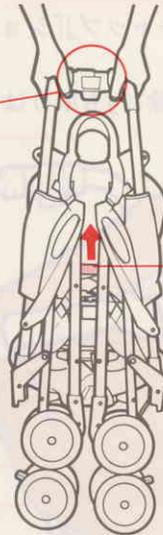
JL-369は「股ベルトカバー」と「日除け」も取りはずしてあります。



# ベビーカーの開き方

①自動フックを上には引っぱってはずします。

手元ロックスライダーは必ずロックしてください。

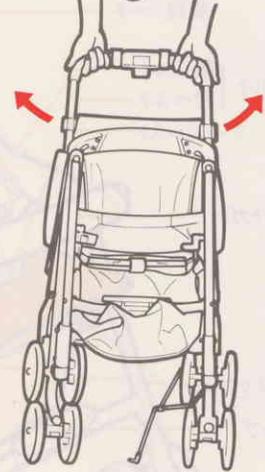


①

自動フック

②自動フックがはずれたら、ハンドルグリップを握り、手首を外に回して開きます。グリップを逆手で持つと操作が楽です。

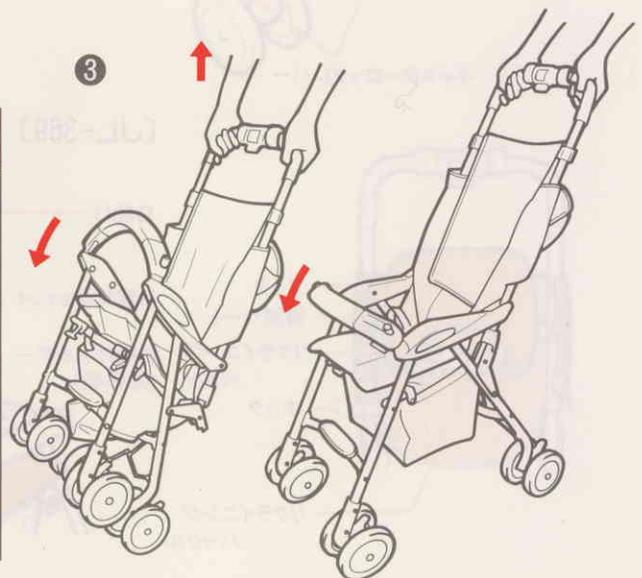
②



※この状態で腰ベルトがはみ出していたり開閉ロックに引っかかったりしていないかを確認してください。もしはみ出しや引っかかりがあれば③に移る前にベルトをシート内側に引っ掛けてください。

③ハンドルグリップを持ち上げるようにしますと、開きはじめます。開くと自立スタンドは自動的に収納されます。

③



## 警告

●開閉ロックがかかっていないときは、そのまま使用しないでください。急に折りたたまれる恐れがあります。

ロックされている〔走行のとき〕      ロックが解除されている〔折りたたむとき〕

開閉ロックが下がって間に空気がない。      開閉ロックが上がって間に空気がある。

●手元ロックスライダーを必ずロックして使用してください。無意識に折りたたみレバーを握ったときなど、急に折りたたまれる恐れがあります。

## 注意

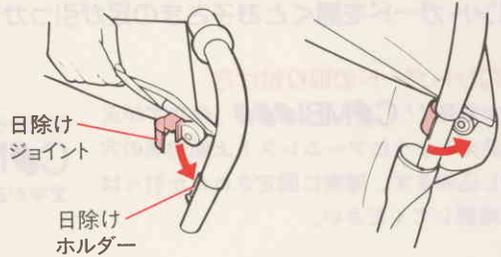
- 開くときは他人に触らせないでください。手をさむ恐れがあります。
- 子供に操作をさせないでください。転倒や思わぬ事故につながる恐れがあります。
- 自立スタンドに無理な力を加えたり、持ち運びの際ぶつけたり引きずったりしないようにしてください。変形、破損の原因となります。

# 日除けの使い方

## 〔JL-299〕

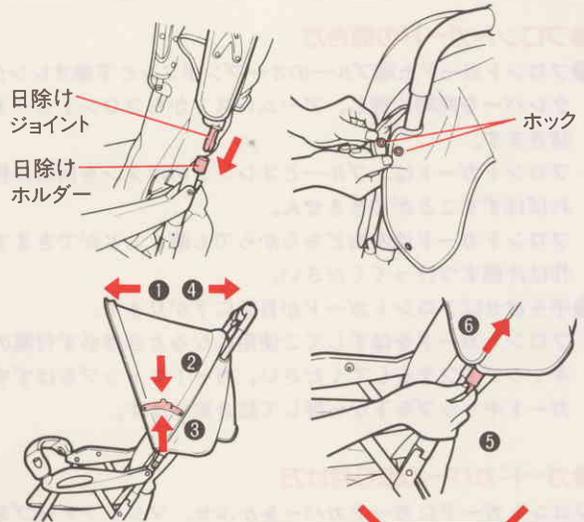
日除けジョイントを内側にひねると日除けは取りはずせ  
ます。取付けるときは日除けジョイントの上下を確かめ  
日除けホルダーに当て外側に回転させるようにして取り  
付けます。

日除けの角度は調節できますが、下ろしたままお子さま  
を乗せないでください。破損の原因となるだけでなくお  
子さまも大変不快です。



## 〔JL-369〕

取り付けるときは日除けの前後を確かめて、日除けジョ  
イントを日除けホルダーに確実に差し込んでください。  
次の図のように左右各2個のホックをとめてください。



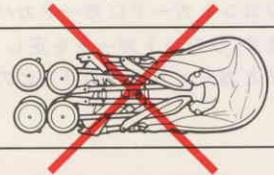
使用するときは①日除けを前にひろげ、②日除けレバー  
の関節部を押し下げてください。

ベビーカーを折りたたむときは③日除けレバーの関節部  
を押し上げ④日除けを後側にまとめます。

取りはずす場合はホックをはずしてから⑤日除けジョイ  
ントの下端をつまみながら、⑥引き抜いてはずします。

### ⚠ 注意

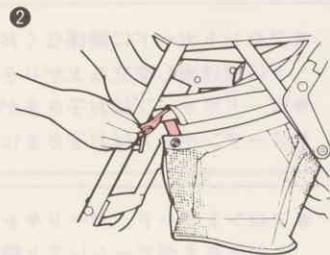
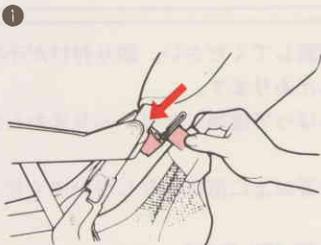
- 保管の際には、日除けの変形を防ぐため、横向きにねかせたり、上  
に荷物等を重ねたりしないでください。また高温になる場所での保  
管もおやめください。



# 買い物カゴの取り付け方

①図のようにカゴ後部左右の固定用フックを腰ベルト後端の筒  
状のすき間( )に上から差し込みます。

②図のようにカゴ前部の固定用ベルトをシート側部のアルミフ  
レームにホックで左右とも固定します。



### 〔荷物について〕

- できるだけカゴ底に均等に荷重が加わるようにのせてくださ  
い。
- ベビーカーの破損や荷物のつぶれの原因になりますから折り  
たたむときは荷物を取り出してください。
- 荷物の出し入れは後上部で行ってください。

### ⚠ 注意

- 5 kg以上の荷物はのせないでください。破損の原因となります。
- 角のとがった物はのせないでください。やぶれの原因となります。

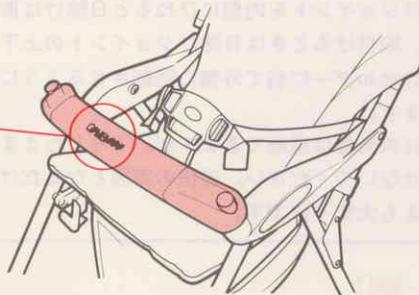
# フロントガードの使い方

フロントガードを開くとお子さまの足が引っかからず乗せ降ろしが楽にできます。

## ●フロントガードの取り付け方

正面から見て「COMBI」の文字が正しく見えるようにアームレスト上面前端の穴に差し込みます。確実に固定されたか引っぱって確認してください。

正面から見て  
COMBI  
文字が正しく見えるように。



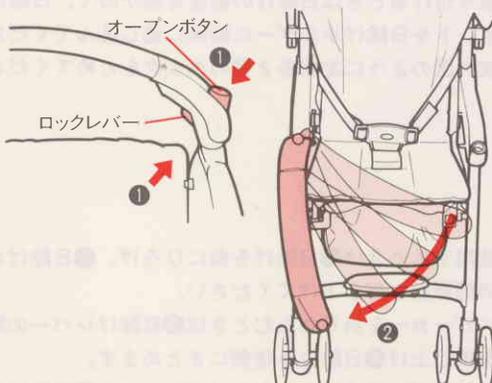
## ●フロントガードの開き方

- 1 フロントガード上端ブルーのオープンボタンと下端オレンジのロックレバーを同時に押し、アームレストからフロントガードを引き抜きます。

フロントガードは、ブルーとオレンジのボタンを同時に押さなければなりません。

フロントガードは左右どちらからでも開くことができますが、操作は片側ずつ行ってください。

- 2 手を放せばフロントガードが自然に下がります。フロントガードをはずしてご使用になるときは必ず付属のガードキャップでフタをしてください。ガードキャップをはずすときはガードキャップを下から押して抜き取ります。



## ●ガードカバーの取り付け方

フロントガードにガードカバーをかぶせ、マジックテープを合わせます。フロントガードを正しくお使いいただくために、フロントガードとガードカバーのコンビのマークの上下を合わせてください。



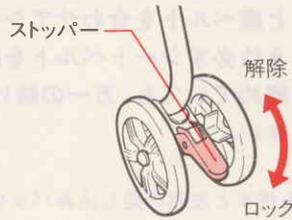
- フロントガードに関係なくお子さまを乗せるときは必ずシートベルトを締めてください。フロントガードは抜け出しや立ち上がりを防ぐものではありません。
- ガードキャップはお子さまが飲み込まないように十分注意してください。窒息などの恐れがあります。
- オープンボタンはお子さまには操作させないでください。落下等の恐れがあります。



- フロントガード、ガードキャップが確実に取り付けられたか確認してください。取り付けが不完全ですとお子さまがアームレスト前端の穴に指を入れケガをする恐れがあります。
- フロントガードの片側をはずした状態でフロントガードを引っぱって使用したり、ふりまわしたりしないでください。破損の恐れがあります。
- フロントガードには過度の力を加えないでください。また、必要以上に広げたりしないでください。故障、破損の恐れがあります。
- フロントガードを取り付けるときには、必ず正面から見て「COMBI」の文字が正しく見えるように取り付けてください。
- フロントガードをつかんで持ち運ぶことは、お子さまを乗せているときはもちろん、空車のときであっても避けてください。手がすべったり、フロントガードがはずれたりすると危険です。

# ストッパーの使い方

- 左右の後車輪の内側にある、ストッパーを下におろせばストッパーのロックがかかります。ベビーカーを軽く前後に動かして、ストッパーが正しくかかっているか確認してください。
- 解除するときは、ストッパーを上げてください。



## 警告

- お子さまや荷物を乗せたときにはストッパーを過信しないでください。ストッパーをかけていても動き出したり、転倒する恐れがあります。
- お子さまを乗せたままベビーカーから離れないでください。ベビーカーが動き出したり転倒する恐れがあります。
- ストッパーは左右ともかけて使用してください。ベビーカーが動き出したり転倒する恐れがあります。

## 注意

- 空車であってもベビーカーから離れるときは必ず左右ともストッパーをかけてください。ストッパーが不完全ですと動き出すことがあります。

# キャスターの使い方

キャスターロックレバーを図①のように下げますと、ロックが解除され車輪が自由に動き、方向転換が楽になります。固定させる場合はキャスターロックレバーを図②のように進行方向に対して真後ろになる位置で上げますとロックされます。

また、折りたたむ時はキャスターを左右とも固定してください。

①



②



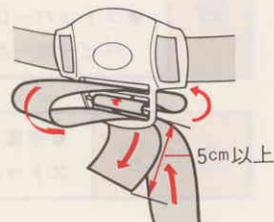
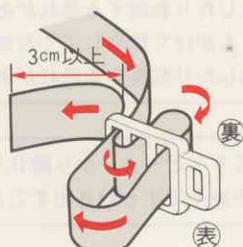
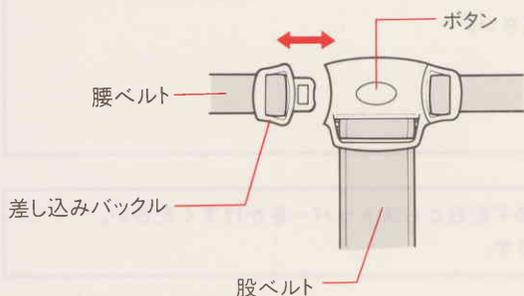
※キャスターを固定しないと折りたためない構造になっています。

# シートベルトの使い方

ここでは、股ベルトと腰ベルトを合わせてシートベルトと呼びます。  
お子さまを乗せるときは必ずシートベルトを締めてください。  
またシートベルトを締めていても、万一の抜け出しや、立ち上がりに対しては十分注意してください。

下図の○部のボタンを押すと左右の差し込みバックルが抜けます。シートベルトを締めるときは股ベルトのバックルに左右の差し込みバックルを確実に差し込んでください。  
また腰ベルトを引っばってはずれないか確認してください。

長さ調整のときに差し込みバックルを取りはずした場合は、下図のとおり確実に取り付けてください。

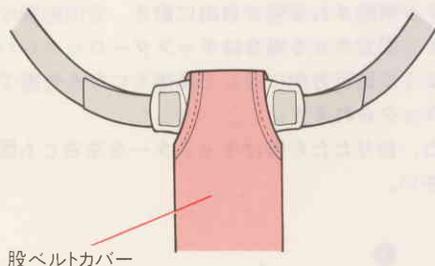


腰ベルト

股ベルト

## 「JL-369」の股ベルトカバーの取り扱いについて

- ベビーカーご使用時は、股ベルトに股ベルトカバーをかぶせてください。
- 構造上はずれやすい部品です。紛失には十分ご注意ください。



股ベルトカバー

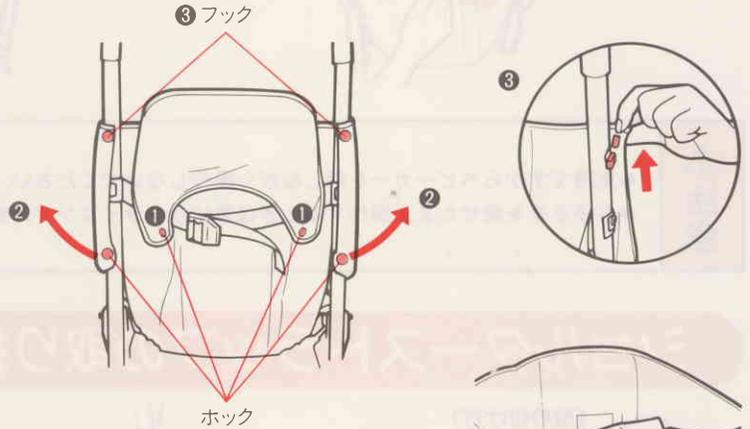


- お子さまを乗せるときは必ずシートベルトを締めてください。  
締めずに乗せるとお子さまが落ちる恐れがあります。
- できるだけたるみを取ってしっかりと締めてください。たるみが多いとお子さまが抜け出したり立ち上がったりする恐れがあります。
- 腰ベルト、差し込みバックル、股ベルトは確実に取り付けてください。  
取り付けが不完全ですと使用中にはずれてお子さまが落ちる恐れがあります。
- 腰ベルトは先端まで3cm以上、股ベルトは先端まで5cm以上残してください。  
先端までの長さが短いと使用中にはずれてお子さまが落ちる恐れがあります。
- やぶれやほつれの発生したベルトはそのまま使用しないでください。  
使用中に切れてお子さまが落ちる恐れがあります。

# 着脱シートの取り扱い方

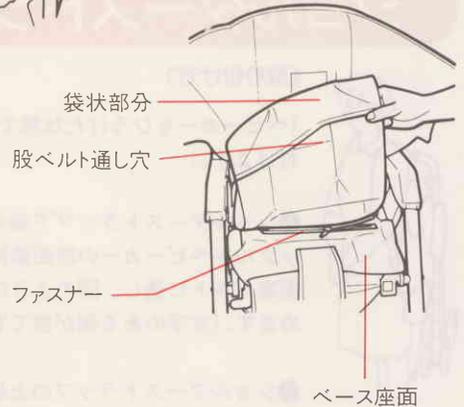
## (取りはずし方)

- 股ベルトから腰ベルトをはずします。
- シート前端部の袋状の部分をベース座面からはずし、シート裏面とベース座面をつなぐファスナーをはずします。
- 背もたれ左右①②の4カ所のホックをはずします。
- ③のフックを上へ引き抜いて、シートをはずします。洗濯の際は背板を抜き取ってください。



## (取り付け方)

- 背板をシートに入れます。
- 背もたれ左右の③のフックを上からかけ、②のフックをとめます。
- ①のフックはリクライニングベルトの上からかぶせるようにしてとめます。
- シート裏側とベース座面のファスナーをとめます。
- 股ベルトを着脱シートの穴に通します。
- シート先端部の袋状の部分をベース座面にかぶせます。

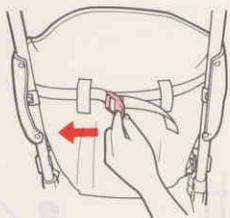


- シートを取りはずしたままお子さまを乗せないでください。転落して重大な事故につながる恐れがあります。
- シートを取り付ける際に、フック類を確実にセットしてください。取り付けが不完全ですと、使用中にはずれてお子さまが転落する恐れがあります。
- やぶれやほつれの発生したシートはそのまま使用しないでください。中のワタをお子さまが飲み込んだり、使用中に切れてお子さまが転落する恐れがあります。

## リクライニングの使い方

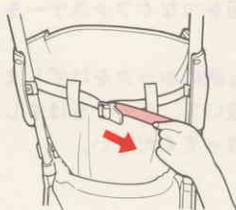
〔背もたれを倒すとき〕

リクライニングバックルを起ししながら左に移動させます。



〔背もたれを起こすとき〕

リクライニングベルトを右に引っばります。



**注意**

- 危険ですからベビーカーを押しながら操作しないでください。
- お子さまを乗せたまま操作するときは急にリクライニング角度が変わらないよう十分にご注意ください。

## ショルダーストラップの取り扱い方

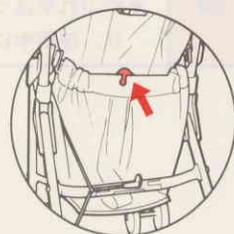
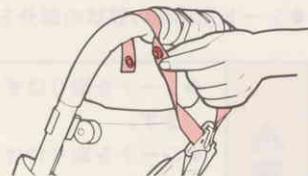
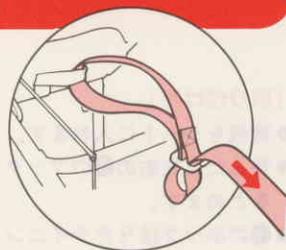
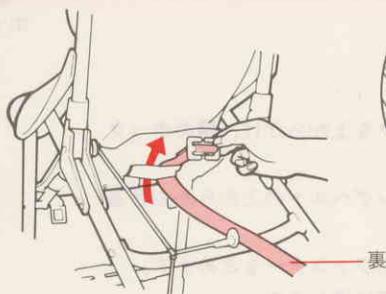
〔取り付け方〕

（ベビーカーをひろげた状態で取り付けます。）

①ショルダーストラップ下端のバックルをベビーカーの座面裏側の固定ベルトに通し、図のようにとめます。（文字のある側が表です。）

②ショルダーストラップの上端の2本のベルトを図のようにハンドルグリップに巻き、ホックでとめます。この際、「左右のハンドルグリップに分ける」「右側にまとめる」「左側にまとめる」という取り付け方ができます。肩にかけやすい位置に取り付けてください。（ストラップがねじれないように取り付けてください。）

③ベビーカーを折りたたみ、肩にかけやすい長さにバックルで調節します。



※ショルダーストラップを使用しないときは、ハンドルグリップからはずし、買い物カゴの中に収納してください。この時、三角形のバックルを買い物カゴ上端にかけておくと再び使用する際取り出しやすくなります。

**警告**

- ベビーカーをひろげて使用するときには、必ず買い物カゴに収納してください。障害物等に引っかかって転倒の恐れがあります。

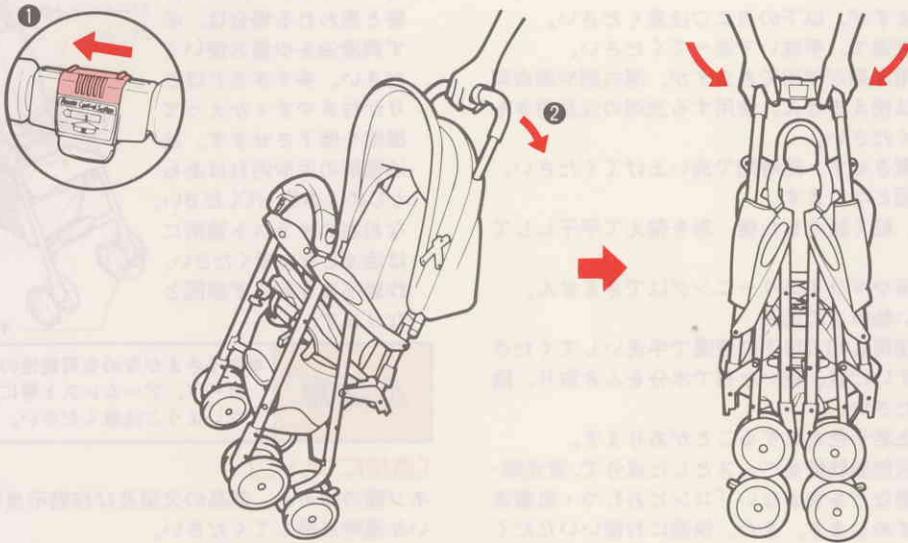
**注意**

- 混雑した場所では他人の迷惑となることがありますので使用しないでください。

●自立スタンドが汚れている場合は衣服を汚す恐れがありますので、その場合は肩にかける前に汚れを拭いてください。

# ベビーカーの折りたたみ方

まず、キャスターを固定し、背もたれを倒し、JL-369は日除けを後ろ側にまとめ、JL-299は日除けを前に倒します。



- ① 手元ロックスライダーをずらし、ロックを解除します。
- ② 折りたたみレバーを握りながら、後車輪を支点にして矢印方向に後へ倒すと折りたためます。
- ③ 次にレバーから手をはなし、左右のハンドルグリップを逆さに持ち、手首を内側に回して折ると、自動フックがかかります。

スムーズに折りたためないときは車体にシートやシートベルト等がはさみ込んでいることが考えられます。無理に力を加えず、いったん開き、はさみ込んでいる物はずしてください。

## 注意

- 手元ロックスライダーは折りたたみ後必ずロックしてください。また、折りたたみ操作時以外は握らないでください。  
ベビーカーが急に開く恐れがあります。
- 手元ロックスライダーをずらさずに折りたたみレバーを握らないでください。  
無理に握ると破損する恐れがあります。
- 引っかかりやはさみ込み等を感じたら、いちど開いて原因を確認してください。  
無理に折りたたむと破損する恐れがあります。
- 折りたたむと自立スタンドが出ます。自立スタンドに無理な力を加えたり、持ち運びの際にぶついたり、引きずったりしないようにしてください。自立が不安定になったり破損する恐れがあります。
- 背もたれは倒してから折りたたんでください。背もたれを起こした状態では折りたたみがかたくなります。
- フロントガードを逆さに取り付けた状態で折りたたみますと、折りたたみがきつくなります。フロントガードを正しく取り付けて(P.7) 折りたたんでください。

# 日常のお手入れ方法

## 〔縫製品の洗濯について〕

- シート、ガードカバーおよびCX JL-369の股ベルトカバーの洗濯
- 丸洗いできますが、以下の点にご注意ください。
- 40℃以下の液温で、手洗いで洗ってください。
- 通常の洗濯用洗剤が使用できますが、漂白剤や漂白剤入りの洗剤は使えません。使用する洗剤の注意書きもよくお読みください。
- 長時間つけ置きせず、短時間で洗い上げてください。色落ちの原因となります。
- 十分すぎ、軽く脱水した後、形を整えて平干ししてください。
- 乾燥機の使用やドライクリーニングはできません。
- 日除け、買い物カゴの洗濯
- ブラシ等を使用し40℃以下の液温で手洗いしてください。よくすすいだ後、乾いた布で水分をふき取り、陰干ししてください。

※製品の特性上若干色あせすることがあります。  
 ※洗濯の際は天然脂肪酸をベースとした成分で、蛍光剤・漂白剤・酵素などを含まない「コンビおむつ・肌着洗い」をおすすめします。また、快適にお使いいただくために、こまめに洗濯することをおすすめします。

## 〔車体の清掃について〕

- 車輪やプラスチック部品及び金属部品の汚れは、水を含ませよくしぼった布でふき取ります。汚れがひどいときは、薄めた中性洗剤を含んだ布でふいた後、水を含ませよくしぼった布でふき取り洗剤分が残らないようにします。

### ⚠注意

- 車体の清掃には中性洗剤以外は使用しないでください。部品の変質、劣化の原因となります。

## 〔注油について〕

- きしみが発生したり、作動が鈍くなって注油が必要と思われる場合は、必ず潤滑油を少量お使いください。多すぎるとほこりが付きやすくなったり機能が低下させます。注油箇所の泥や汚れはあらかじめふき取ってください。なお右のイラスト箇所には注油しないでください。作動不良を起こす原因となります。



### ⚠注意

- お子さまがなめる可能性の高いフロントガード、アームレスト等には油が付着しないようご注意ください。

## 〔点検について〕

ネジ類のゆるみ、部品の欠損及び作動不良等の異常がないか適時点検してください。

### ⚠警告

- 車体の破損、異常やシート及びシートベルトにやぶれ、ほつれ等が発生した場合には、ただちに使用を中止して必ず当社サービスマンの点検、修理を受けてください。そのまま使用しますと、重大な事故につながる恐れがあります。

### ⚠注意

- 危険ですからむやみに改造や分解はしないでください。
- お手入れの際に取り外した部品は、本書をよく読み正しく取り付けてください。取り外したままですとお子さまが危険です。

## CHITOPOLY® の特長

キトポリイ

JL-369には天然系繊維(キトポリイ)を使用しています。

キトポリイは、植物性繊維ポリノジックに、カニやエビなどからとれる天然の保湿・抗菌成分キトサンを練り込んだ天然系繊維です。

### ●低刺激・保湿性

刺激が少なく保湿性があります。

キトポリイは「マンマミーアCX JL-369」のシート・腰ベルト・股ベルトカバーに使用されています。

### ●抗菌性

優れた抗菌性が、汗などによる繊維上の雑菌の繁殖を抑えます。

※CHITOPOLY®は富士紡績株式会社により開発された繊維素材です。  
キトポリイ

## アフターサービスについて

- 破損・異常が発生した場合は、分解など自分で修理せず、必ず修理を受けてください。そのまま使用しますと、重大な事故につながる恐れがあります。当社のお客様相談室にご連絡ください。
- 修理/部品販売の際は、まったく同じ部品がない場合があり、色や仕様が若干異なることがありますので、あらかじめご了承ください。

## 保管の仕方

- 直射日光をさけ、湿気が少なく雨やほこりのかからない場所に立てて保管してください。屋外で保管する場合はカバーをかけることをおすすめします。
- 車のトランクに入れて運ぶ場合は、買い物カゴを下にしてねかせてください。

### ⚠注意

- 火の近くや夏期の車内等高温になる場所での保管はさけてください。故障や変形の原因となります。
- 荷物を重ねたり、圧力が加わるような状態で保管しないでください。故障や変形の原因となります。